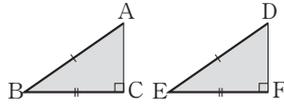


三角形と四角形

1 直角三角形の合同

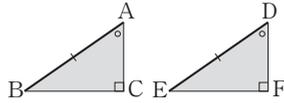
(1) 斜辺と他の1辺がそれぞれ等しい。

図 $\angle C = \angle F = 90^\circ$ 、 $AB = DE$ 、 $BC = EF$



(2) 斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい。

図 $\angle C = \angle F = 90^\circ$ 、 $AB = DE$ 、 $\angle A = \angle D$



例題1 $AB = AC$ の二等辺三角形 ABC の頂点 A から辺 BC に垂線 AM をひきます。 $\triangle ABM \equiv \triangle ACM$ を証明しなさい。

解き方

「斜辺が等しい」ことを利用する。

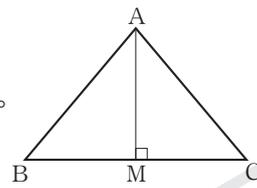
[証明] $\triangle ABM$ と $\triangle ACM$ で

仮定より $AB = AC$ ①

$\angle AMB = \angle AMC = 90^\circ$ ②

また AM は共通③

①、②、③より斜辺と他の1辺がそれぞれ等しいので $\triangle ABM \equiv \triangle ACM$



⇒ 対応する頂点の順に書く

⇒ 90° を忘れない

⇒ $\angle B = \angle C$ でも証明できる
● $BM = CM$ は使えない!
⇒ 直角三角形の合同条件

● 直角三角形の合同の証明

斜辺が等しいといえないときは、一般の三角形の合同条件を利用する。

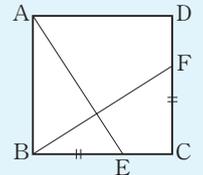
例 図の正方形で

$BE = CF$ です。

$\triangle ABE \equiv \triangle BCF$

を証明しなさい。

⇒ $AE = BF$ は使えない。「2組の辺とその間の角」を利用。

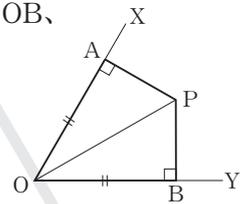


類題1 図で $OA = OB$ 、

$AP \perp OX$ 、 $BP \perp OY$

です。 $AP = BP$ を

証明しなさい。

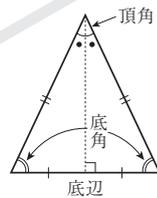


2 二等辺三角形

(1) 二等辺三角形の定義 2辺が等しい三角形

(2) 二等辺三角形の底角は等しい。(性質)

(3) 二等辺三角形の頂角の二等分線は、底辺の垂直二等分線である。(性質)



例題2 図は $AB = AC$ の二等辺三角形です。頂点 B 、 C から対辺にひいた垂線をそれぞれ BD 、 CE とし、その交点を P とします。 $PB = PC$ となることを証明しなさい。

解き方

$\triangle DCB \equiv \triangle EBC$ を利用して、 $\angle PBC = \angle PCB$ をいえばよい。

[証明] $\triangle DCB$ と $\triangle EBC$ で、

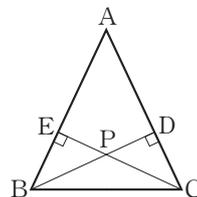
$AC = AB$ より $\angle DCB = \angle EBC$ ① ⇒ 底角は等しい

仮定より $\angle BDC = \angle CEB = 90^\circ$ ② ⇒ 仮定

また、 BC は共通③ ⇒ $DC = EB$ 、 $DB = EC$ は使えない!

①、②、③より、斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいので $\triangle DCB \equiv \triangle EBC$ ⇒ 直角三角形の合同条件

よって $\angle PBC = \angle PCB$ より $PB = PC$ ⇒ 結論



● 二等辺三角形であることの証明

次のどちらかをいえばよい。

① 2辺が等しい。

② 2角が等しい。

● 正三角形(特別な二等辺三角形)

① 定義 3辺が等しい三角形

② 性質 3つの角が等しい

類題2

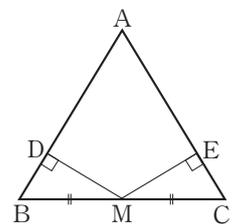
図は、 $AB = AC$ の二等

辺三角形で、底辺の中

点 M から2辺 AB 、 AC

に垂線 MD 、 ME をひ

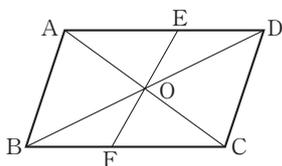
きます。 $MD = ME$ を証明しなさい。



3 平行四辺形の定義と性質

- (1) 定義 2組の対辺が、それぞれ平行な四角形。
- (2) 性質 ① 2組の対辺は、それぞれ等しい。
② 2組の対角は、それぞれ等しい。
③ 対角線は、それぞれの中点で交わる。

例題3 図のように、 $\square ABCD$ の対角線の交点Oを通る直線と、辺AD、BCとの交点をそれぞれE、Fとします。AE=CFを証明しなさい。



解き方

平行四辺形の定義と性質を利用して、三角形の合同を導く。

[証明] $\triangle AOE$ と $\triangle COF$ で、

四角形 ABCD は平行四辺形だから

$AO=CO$ ……………① ⇒“性質”の③

$AD\parallel BC$ より $\angle EAO=\angle FCO$ (錯角)……………② ⇒定理

また、 $\angle AOE=\angle COF$ (対頂角)……………③ ⇒定理

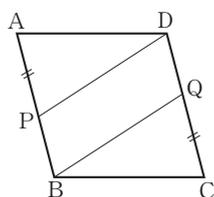
①、②、③より、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので $\triangle AOE\equiv\triangle COF$ ゆえに $AE=CF$ ⇒結論

4 平行四辺形になるための条件

次のいずれかが成り立つ四角形は、平行四辺形である。

- (1) 2組の対辺がそれぞれ平行である。(定義)
- (2) 2組の対辺がそれぞれ等しい。(性質①)
- (3) 2組の対角がそれぞれ等しい。(性質②)
- (4) 対角線がそれぞれの中点で交わる。(性質③)
- (5) 1組の対辺が平行で長さが等しい。(定義+性質①)

例題4 $\square ABCD$ の辺AB、CD上にそれぞれ点P、Qをとります。AP=CQのとき、四角形PBQDが平行四辺形になることを証明しなさい。



解き方

上記の(1)~(5)の“条件”のどれかに当てはめる。

[証明] 四角形 ABCD は平行四辺形だから

$AB\parallel DC$ より $PB\parallel DQ$ ……………① ⇒“定義”

$AB=DC, AP=CQ$ より $PB=DQ$ ……………② ⇒“性質”の①

①、②より、1組の対辺が平行で長さが等しいので、四角形 PBQD は平行四辺形である。 ⇒結論

●特別な平行四辺形の定義と性質

通常の平行四辺形の性質の他に次のことが加わる。

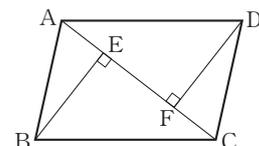
名称	定義	対角線の性質
長方形	4つの角が直角の四角形	長さが等しい
ひし形	4つの辺が等しい四角形	垂直に交わる
正方形	4つの角が直角で、4つの辺が等しい四角形	長さが等しく垂直に交わる

類題3 図は、 $\square ABCD$ の対角線AC

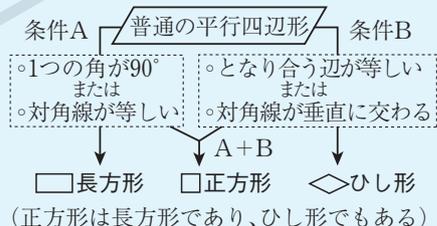
に頂点B、Dからそれぞれ垂線をひいたものです。

$\triangle ABE\equiv\triangle CDF$

を証明しなさい。

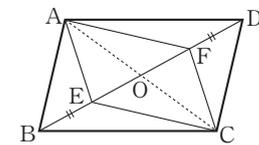


●特別な平行四辺形になるための条件



類題4 図の $\square ABCD$ の対角線上に2

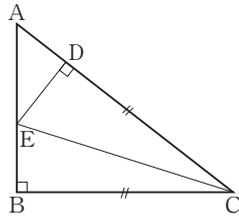
点E、Fがあり、BE=DFです。四角形AECFが平行四辺形であることを証明しなさい。



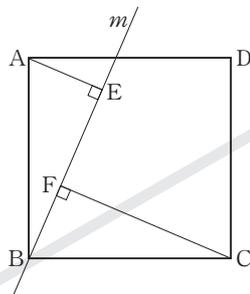
演習A 15 三角形と四角形

1 直角三角形の合同 次の問いに答えなさい。

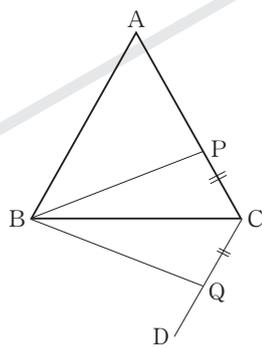
(1) 図の直角三角形 ABC で、斜辺 AC 上に $BC=DC$ となる点 D をとり、D を通り AC に垂直な直線と AB との交点を E とします。△BCE ≡ △DCE を証明しなさい。



(2) 図のように、正方形 ABCD の頂点 B を通り辺 AD と交わる直線 m に、A、C から垂線をひき、 m との交点を E、F とします。AE = BF を証明しなさい。



2 二等辺三角形 図は、 $AB=AC$ の二等辺三角形で、C から AB に平行な直線 CD をひき、CA、CD 上に、 $CP=CQ$ となる点 P、Q をとります。



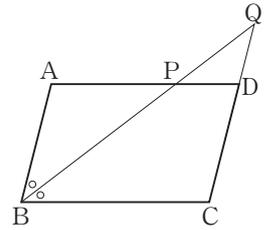
(1) $\angle BCQ = 65^\circ$ のとき $\angle A$ は何度ですか。

[]

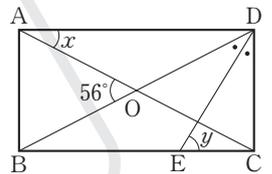
(2) $BP=BQ$ を証明しなさい。

3 平行四辺形の定義と性質 次の問いに答えなさい。

(1) 図の $\square ABCD$ の $\angle B$ の二等分線と、辺 AD との交点を P、辺 CD の延長との交点を Q とします。PD = QD を証明しなさい。



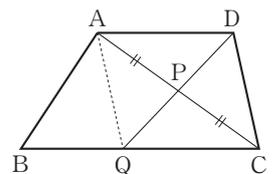
(2) 図の長方形 ABCD で、O は対角線の交点、DE は $\angle BDC$ の二等分線です。 $\angle x$ 、 $\angle y$ の大きさを求めなさい。



[]

4 平行四辺形になるための条件

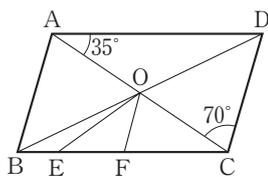
図は $AD \parallel BC$ の台形で、対角線 AC の中点を P とします。DP の延長と辺 BC との交点を Q として、四角形 AQCD は平行四辺形であることを証明しなさい。



演習 B 15 三角形と四角形

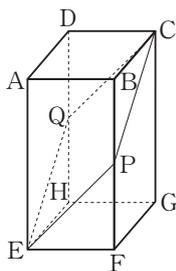
1 次の問いに答えなさい。

- (1) 図の $\square ABCD$ で、 O は対角線の交点、 $AO=EO$ 、 $OF \parallel DC$ です。 $\angle EOF$ の大きさを求めなさい。



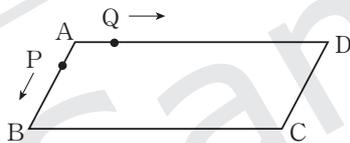
[]

- (2) 図は正四角柱で、辺 BF 、 DH の中点をそれぞれ P 、 Q とします。四角形 $EPCQ$ はどんな図形ですか。



[]

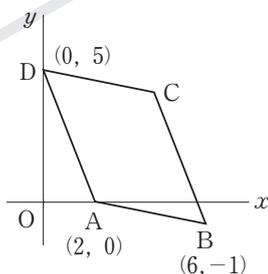
- (3) 図は $AB=4\text{cm}$ 、 $AD=12\text{cm}$ の平行四角形で、この辺上を、点 P は毎秒 2cm の速さで A から B を経て C まで進み、点 Q は毎秒 3cm の速さで A から D を経て C まで進みます。 $\triangle ABP \equiv \triangle CDQ$ となるのは、 P 、 Q が A を同時に出発して何秒後ですか。



[]

2 図の四角形 $ABCD$ は平行四角形である。

- (1) C の座標を求めなさい。

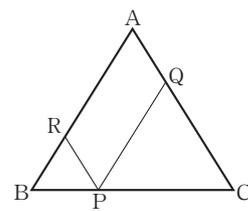


[]

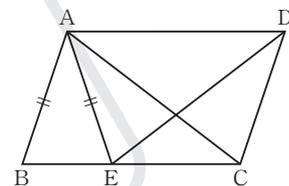
- (2) 原点 O を通り $\square ABCD$ の面積を 2 等分する直線の式を求めなさい。

[]

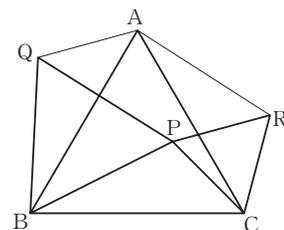
- 3 図は $AB=AC$ の二等辺三角形で、辺 BC 上の点 P から AB 、 AC に平行な直線をひき、 AC 、 AB との交点をそれぞれ Q 、 R とします。 $RP+QP=AB$ を証明しなさい。



- 4 図は $\square ABCD$ の辺 BC 上に $AB=AE$ となる点 E をとったものです。 $\triangle ABC \equiv \triangle EAD$ を証明しなさい。



- 5 図のように、正三角形 ABC の内部に点 P をとり、 $\triangle PBC$ の外側に、 PB 、 PC をそれぞれ 1 辺とする正三角形 $\triangle QBP$ 、 $\triangle RPC$ をつくりまます。



- (1) $\triangle PBC \equiv \triangle QBA$ を証明しなさい。

- (2) 四角形 $AQPR$ が正方形になるとき、 $\angle PBC$ は何度ですか。

[]